

# 令和7年度 岐阜県学校安全優良校の実践

区分	学校名	特色ある実践内容
岐阜	瑞穂市立 中小学校	異なる想定をした「命を守る訓練」を年複数回段階的に実施したり、児童・教職員・保護者が登下校中の発災時の行動を確認したりするなど、より実効的な活動となるように工夫し、児童の防災意識の醸成を図っている。
西濃	池田町立 池田小学校	県教育委員会からライフジャケットを借用して河川を想定した水泳の授業を行ったり、避難所設営訓練や防災体験活動を充実させたりすることで、事故や災害から自分の身を守るための術を学ぶ場としている。
美濃	関市立 博愛小学校	親子で通学路の安全確認や子供110番の家の確認を実施して安全マップを作成したり、PTAで防災グッズの整備をしたりするなど、学校と保護者が連携して組織的な取組と学校環境の整備の充実を図っている。
可茂	川辺町立 川辺西小学校	毎月第3金曜日の朝活動に「西小命の日」を実施したり、町内全小学校同日開催の「あらたまの日参観日」に外部講師による防災授業を実施したりするなど、自ら考え、判断し、命を守る態度を育てている。
東濃	瑞浪市立 日吉小学校	地域の防災士による防災授業を年複数回実施したり、PTAが中心となり着衣水泳講習会を実施したりするなど、学校・家庭・地域が一体となって防災意識を高め、自分の命を自分で守るための術を学んでいる。
飛騨	高山市立 東山中学校	高山まち協防災士女子会による防災学習を全学年で実施したり、「郷土の未来を語る会」や「大八地区総合防災訓練」で防災体験をしたりするなど、学校と地域が一体となり生徒の防災力を高めている。
県立	岐阜県立 飛騨特別支援学校	VRなどによる体験型の学習を充実させたり、「減災力テスト」を実施して自身の状況を認識したり、家庭で防災マップと災害時の対応を確認したりするなど、発災時に自分で判断し行動する意識を高めている。